

はぎやま

令和六年十二月二十五日発行

第一五七号

東京都立萩山実務学校

東村山市 萩山町一・三七・一

☎〇四二(三四二)六〇一一

「誰もがともに成長できる場所へ」

萩山実務学校 自立支援課長

「光陰矢の如し」とはよく言いますが、私が萩山に着任してはや九ヶ月が経とうとしています。正直異動内示を聞いた時は恥ずかしながら児童自立支援施設について全くの不勉強でしたが、初めての児童福祉の仕事ということで、新しい環境でどんなチャレンジができるのだろうか、期待感が沸き上がるような心地だったのを覚えています。

この間、職員のみなさんに色々なことを教わりながら一緒に仕事を進めていく一方で、自然を楽しむ会、全校遠足、林間教育、夏祭り、運動会、防災訓練、収穫祭など季節折々の様々な行事に参加し、子供たちの間近で思いのほか多くの時間を一緒に過ごすことができたことに驚きましたし、とてもありがたかったと感じています。当初、萩山で暮らす子供たちは、元気な声で礼儀正しく挨拶をしてくれ、一見すると世間一般の子供と大きな違いもないように見えました。しかし実際には、それぞれの生きづらさや課題を抱えながらこ

に辿り着いていること、そのような子供たちの安全・安心を確保しながら、大人との信頼関係や健やかな心身を育むことで、将来社会で自立して暮らしていけるよう、一人ひとりに寄り添って支援していることが徐々にわかっていきました。

毎日朝早く起き、平日は分校で授業を受けてから寮に帰り、早い時間に寝るという規則正しい生活を送る中で、食事、入浴洗濯、掃除などの日課に一つ一つ取り組むことで、生活上のルールやスキルを身に付けていき、休日は買い物や理髪、余暇活動で外に出かけます。時には子供が希望した食事メニューで誕生日をお祝いしたり、子供と大人が協力して行事の準備をするなど、学びながら楽しむためのチャンスが散りばめられています。

私が最も感銘を受けたのは、一日の中で子供との対話に多くの時間を設けているということでした。子供の不安な気持ちや言葉や行動に現れた時、他の人とトラブルになりそうな時など、お話しですかと子供が公務室に来たり、職員が声かけをして丁寧に戻りをお願いします。何にイライラしたのかを一緒に考え、この言葉は人を

傷つける言い方だから適切でないとか、日課に取り組む際に子供同士で話してはいけないのは一つのこと集中するためなど、個々のルールに明確な理由があり、これまでの支援の中で積み上げられてきたノウハウが日常的な対話の端々に詰め込まれていることを実感しています。

最近、アドボカシーという言葉が頻繁に使われるようになりましたが、子供の権利ノートにもあるように、全ての子供が「意見や希望を言う権利」を持っています。しかし、アドボカシーをどのように実践するのが正しいのかというのはなかなか難しく、子供から意見を聴取する機会をできるだけ多く設けられればということではないような気がします。

萩山に入所する子供の多くは、過去の傷つきや失敗の経験から自己肯定感が低く、最初は大人に相談することに戸惑い、ネガティブな感情を切り替えられず、誰か他人にそれを投影しようするなど、心理的な内面がその時々と言動に現れることがあります。そのため面談を行う際、子供の話を否定せずに傾聴や共感をしつつ、本人の進路や家族との関係などは選択肢を提案し

ながら解決策をとるに探し、子供自身が正しく判断できるよう働きかけていきます。その結果、子供が自らの特性や課題に気づき、将来への希望を見出して主体的に成長し、本人もそれを実感できたという場面を耳にした時には、事務職の私でさえ心が躍るような感覚があります。

このような子供の「ここが変わるんだ!」という強い思いと親身になった密接な関わり、時代の変化を捉えた支援方法の工夫とともに、多様性の尊重という視点も求められていると感じます。毎日の生活に加え、クラブ活動やスポーツ大会、演芸会等の行事などでの様々な体験を通じて、子供が自身の特技や興味関心に気づくことがあります。こうしたそれぞれの強みや価値観を尊重した支援を行うことで、子供の間でもお互いの違いを認め支え合う姿勢が浸透し、将来、疎外感や人との距離感に悩まなかったためのお守りになると思います。

年度末に向け、萩山から巣立つ子供たちの進路や生活場所が決まっています。誰もが過去や不安を断ち切り、選んだ新しい道を時には人に頼りながら自らの力で歩いていけるよう願っています。

運動会

四寮 Kさん

九月二十九日、雲一面の空で迎えた運動会。それは、僕の思い出に残る「忘れられない運動会」となりました。

開会式は、大勢の人の前だと緊張してしまうタイプの僕にとつて第一関門でもありました。しかし、目立った失敗も無く、終わって良かったです。

開会式後、メドレーリレーがありました。僕は予行練習で靴が脱げるというハプニングがあり、気をつけて挑みました。でも本番では靴が脱げることはありませんでした。同じ寮の人たちにも褒められて嬉しかったです。

その次に、「台風の日」という競技がありました。一緒に走っていた仲間が転んでしまいました。今となっては良い思い出です。

運動会の後はみんなでカツカレーを食べました。僕は福祉司さんが来てくれたので一緒に雑談しながら食べました。最後に、僕は運動会を精一杯楽しめたと思います。参加できたことが嬉しかったです。

六寮 Sさん

僕が運動会で一番楽しかったことは「台風の日」という競技です。何故かという担任の先生と一緒に走ったからです。僕は今まで自分の担任の先生と一緒に協力し合うという経験は初めてでした。

ほかにも寮での応援合戦は、三日前に「パン食い競走」をやるのが決まりました。練習する時間は取れませんでしたが、ぶっつけ本番で応援合戦を頑張りました。僕は止まっているパンを食べる競技だと思っていました。先生がパンを持って走り回るのを追いかける内容でした。頑張りました。



さくら寮 Mさん

今年の運動会は「自分が変わったな」と成長を感じられる運動会でした。

昨年の私はまだ集団で何かをするのが苦手で、まともに練習に参加できませんでした。練習が始まると帰ることが当たり前で、当日は参加できませんでした。だから今年が萩山で初めての運動会でした。

練習では、楽しんで参加することができて本番でも笑いがあふれるそんな一日でした。「ここで頑張ってきた良かったな」「自分が変わったな」と思える日になりました。

勝ち負けに関係なく頑張った自分を褒められたのはとても良いことだと思います。そこも成長だと思います。

昨年から今まで大きな失敗をいっぱい繰り返してきた、そこから学んでたくさん成長できたので今年の運動会は最高の思い出となりました。

最後に、どの競技も印象的でしたが一番記憶に残ったのは、昼食のカツカレーでした。また、カツカレーを取りに行くときに、分校の先生が大きな声で呼び込みをしていたのが面白かったです。



秋の全校遠足

三寮 Yさん

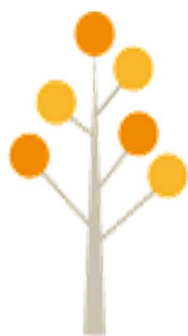
埼玉県にある国営武蔵丘陵森林公園に遠足に行きました。その日はあいにくの雨が降っていましたが、歩いているときはあまり降っていませんでした。

公園の中に入ってみると、クモがたくさんいました。しかも自分は、先頭の方だったので片手に木の棒を持ちクモの巣を払い落としながら進みました。

歩いている途中、所々に花やキノコがありました。また、クリもあつちこちに落ちていました。自分がすごいなと思ったところは芝の手入れです。隅々まで均一になっていたのに驚きました。

お昼の萩山特製弁当はとても美味しかったです。特に、鮭の皮の部分の塩加減が絶妙でした。

お昼を食べ終わった後は、芝生でスライディングなどをして遊びまし



た。野球のスライディングの良い練習になりました。

道中、鎌倉に行くときの道を見ました。ここを武士たちが通っていたのかと思うと興味深かったです。

この遠足を通して自分の心と体がリフレッシュできました。



五寮 Aさん

僕は遠足を通してたくさんのことを学びました。その中でも思い出に残った事が二つあります。

一つ目は、萩山での生活経験を外出しても活かされたことです。全体を通して落ち着いた行動ができ、おいしい萩山特製弁当を食べた後のボールで遊ぶ時間は、楽しむためにメリハリを持った行動ができたと思います。

二つ目は、萩山とは違う自然を味わえたことです。雨の中だったので地面がぬかるんでいて靴が汚れてしまったこともいい思い出になりました。また、公園で栗や鳥などの動植物に出会えたことは良かったです。



関東女子バレーボール大会

さくら寮 Mさん

私は今年のバレーボール大会で、チームリーダーをやらせてもらってバレーボールの楽しさとチームプレーの良さを実感しました。

去年の私は、声を出すことも特にしないで、パスやチームプレーが苦手だったのでバレーボールを楽しめませんでした。また、ボールが自分たちのコートに入ってきてても、なかなか自分から取りに行けなくて、人任せにして誰も触ることもなく、床に落ちてしまうこともありました。

しかし、今年のメンバーは結構、積極的に動く人が多く、練習の時からお互いに声を出してすごくいい雰囲気でした。

大会当日の試合結果はあまりよくありませんでしたが、ミスしても全員で声を掛け合って、楽しくプレーができました。

とても広くて素敵なアリーナ（会場）でバレーボールを楽しめた事は、貴重な体験になりました。



関東少年文化祭

かしわ寮 Aさん

私は文化祭がとても楽しかったです。他の施設の発表も、とても良くて心が躍りました。その中でも一番心が踊ったのは萩山の演奏です。

私たちはプログラムの中で最後の出演でした。最後というのもあり、私たちは飛び切りの「アイドル」になった気持ちになりました。恥ずかしさなど忘れて踊ることが出来ました。

今年は昨年演奏した時よりステージから観客席を見ることが出来て、キラキラと光っているように見えま

した。舞台に立った時、私の夢がかなった気持ちになるくらい感動しました。昨年とはまた違う楽しさが経験出来ていい思い出となりました。

鑑賞教室

十二月一日に「ルロットオーケストラ」による演奏がありました。

五寮 Nさん



僕が今回の鑑賞教室で一番印象に残ったのは、コーラのペットボトル3を楽器にしたことです。なぜなら、中に入れる空気の変えたただで様々な音が出せていたのでとてもビックリしました。自分もいくつかいろいろな音を出せるように実験してみようと思いました。

曲目のなかで一番印象に残ったのは「甲賀忍法帖」です。カッコいいメロディーで気持ちが上がってくるような演奏でした。気持ちが落ち込んでるときや落ち着かないとき、この曲を聞くと落ちた気持ちを直すことができそうで、お気に入り

の曲になりました。他の演奏していただいた曲も懐かしいと感じました。「ルロットオーケストラ」の演奏方法や表現技法などすごく好きになりました

さくら寮 Iさん

知っている曲が何曲もあつて楽しかったです。

フライパンを叩いたり、ペットボトルに入れる空気の量を考えて奏でる発想がとても素敵だと思いました。ヴァイオリンとチェロの奏でる音もきれいでした。コントラバスの低音はとても好みでした。こんなに低い音が出せるのって心の中で思っていました。フルート演奏者は途中で木の方には足に鈴をまいて足でリズムをとっていました。私はよくリズムがくるわなののがすごいなって思いました。でも全然くるわなかったです。私が知っている曲をアレンジしている方はすごいなと思いました。

収穫祭

十二月六日に収穫祭が行われました。そこでは各寮の代表が、「僕(私)

の収穫」と題した作文を発表しました。

一寮 Kさん

萩山に来た時、自分の一生懸命さは空回りし、やること全てが裏目に出て、うまくいかない事ばかり。更に波長の合わない人とは、トラブルが続いたりしていました。先生にも相談しました。

そこで気が付いたことは、以前だったら、人のせいにして、全て放っておいたはずなのに、その時「自分の努力でなんとかしたい」と考えている自分に気がつきました。それは僕にとつて大きな変化でした。

それ以後、先生に相談にのってもらいながら、自分の目標を決めたりして、努力ポイントを設定してみたら、それに向かって、努力できる自分がいきました。それも驚きです。

目標をもつことができたこと。目標にそつて努力できる自分に気付けたこと。

それが僕の収穫です。



けやき寮 Nさん

萩山に来たばかりの僕は、注意されると「なんで自分ばかり」とか思つてしまつて、何を注意されているのか、意味がわからなかったです。というか分かるうとしていなかったです。そして、言い訳のオンパレード。

でも、まわりを見てみたら、他の人たちはなんかしっかり努力していて、自分も朝のランニング、作業、勉強を頑張ろうと思つてやつてみたら、少しずつ自信がもてるようになりました。

きつと、あの頃の自分は、自分に自信がなかったので、注意されると、自分が否定されている気分になつてしまつていたのだと思います。だから、注意の意味とか、自分を守るためにバカげた言い訳をしていたんだと思います。

しかし、今は、自分のために、先生方が話をしてくれていると、理解できるよつになつています。

自分の努力で自分が変わる経験をしたこと

「継続は力なり」ということを、朝のランニングで実感できたことそれが僕の収穫です。

編集後記

今年も終わりに近づき、本格的な寒さを感じる季節になりました。

子供たちは、萩山の生活の中で、全校遠足やビーチボールバレー交流会、収穫祭等の様々な行事を経験しました。それらの体験を通して、子供一人一人が自己の成長を実感できたことと思います。

今後も学校だより「はぎやま」を通して、そのような子供の姿をお伝えできればと思います。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。

編集長

自立支援課長

文書管理

課長代理(庶務担当)

事務局

統括課長代理(福祉調整担当)

